

新河岸川 広域景観 プロジェクト便

Vol. 2

2008年9月1日発行



8月30日(土) 13:00 ~ 16:00 に朝霞市リサイクルプラザで「新河岸川広域景観プロジェクト 景観掘り起こし勉強会【和光・朝霞エリア】」を開催しました。

和光市、朝霞市で活動されている団体の方や市民の方、7月の講演会をきっかけに景観に興味をお持ちになった方、新河岸川の歴史が好きな方が参加され、充実した勉強会となりました。

(参加者34名)

『勉強会』では、さいたま民俗文化研究所の高木文夫氏から「新河岸川の歴史と舟運」のお話を伺い、舟運で栄えた新河岸川へタイムスリップした気分で聞き入りました。

後半の『景観掘り起こし MAP 作成』では、参加者が日頃思っている「良い景観」「残念な景観」「景観資源」を思い思いに付箋に書き、地図に貼っていきました。思いはひとそれぞれですが、良い景観を残して行きたい気持ちは同じだと感じました。

次回以降も楽しみです。



新河岸川広域景観プロジェクトとは...

昭和のはじめまで約300年間舟運で栄えた歴史ある新河岸川をモデルとしたプロジェクトにより多くの県民のみなさまが《景観》について関心を持ち、県民やNPOのみなさま、企業等と市、県が一体となり行動することで、埼玉の美しい景観を先導することを目的とします。



埼玉県のマスコット
コバトン

美しい景観は、私たちが快適で心地よい生活をし、埼玉の良さを再認識し、誇りと愛着を生むきっかけとなります。

私たちの日々の暮らしに《景観》の視点を取り入れ、身のまわりの景観に関心を持ち、良い景観はみんなで守り、悪い景観はみんなで直していくなど、できることから時間をかけて美しい景観をつくっていきます。

『新河岸川の歴史と舟運』

さいたま民俗文化研究所

(元ふじみ野市立福岡河岸記念館長)

高木 文夫 氏



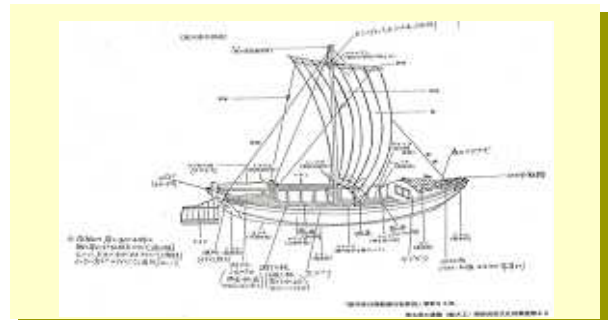
新河岸川は、寛永15年(1638年)に仙波東照宮の再建資材の運搬のために使われたのが「舟運」の始まりである。その後正保4年(1647年)川越藩主松平信綱が新河岸川を改修。本格的に「舟運」が開始された。

舟運の最盛期には、200艘前後の荷船が新河岸川を行き来。荷船は全長15メートル前後で、積載量は200~250俵も積めた。

仙波から新倉まで、20数カ所の河岸(船着き場)があり、橋のある4箇所以外の河岸は、渡し船で人馬が行き来していた。川を登る時はノツケと呼ばれる引付役が船を引っ張った。黒目川と合流する田島(朝霞市)が最大の難所であった。



近代になり大正3年に開通した東武東上線の影響で荷物や人の運搬は鉄道が主になり、舟運は衰退。昭和6年(1931年)に新河岸川の改修工事が終わり埼玉県から通船停止令が出され、舟運の最後となった。



新河岸川の別名

新河岸川の名前は江戸中期から使われ、別名「内川」とも「九十九曲がり」とも呼ばれている

荷船で運んだものは？

上り(江戸 川越)

: 日用品や肥料

下り(川越 江戸)

: 農産物の米

麦、さつまいも等



船便の種類

運航日が決まってる船

16船 27船 38船 49船 50船

用途・時間によって出る船

並船・早船・急船・飛切船

・雁船

『景観掘り起こしMAP作成』



2グループにわかれ、新河岸川の《景観》について、参加者が感じていることを付箋に書き出し、グループ内で発表しながら、地図を作成していきました。

「良い景観」...青の付箋

「残念な景観」...赤の付箋

「景観資源」...黄の付箋

和光市の景観掘り起こしMAP



桜並木・川と緑・富士山が見える・産廃・アクセス悪い・土手
朝霞市の景観掘り起こしMAP



黒目川との合流・ゴミ・不法居住者・斜面林・湧き水・旧河川

手順
付箋に記入



手順
地図に貼る



手順
話し合い



手順
代表が発表



意見交換の様子



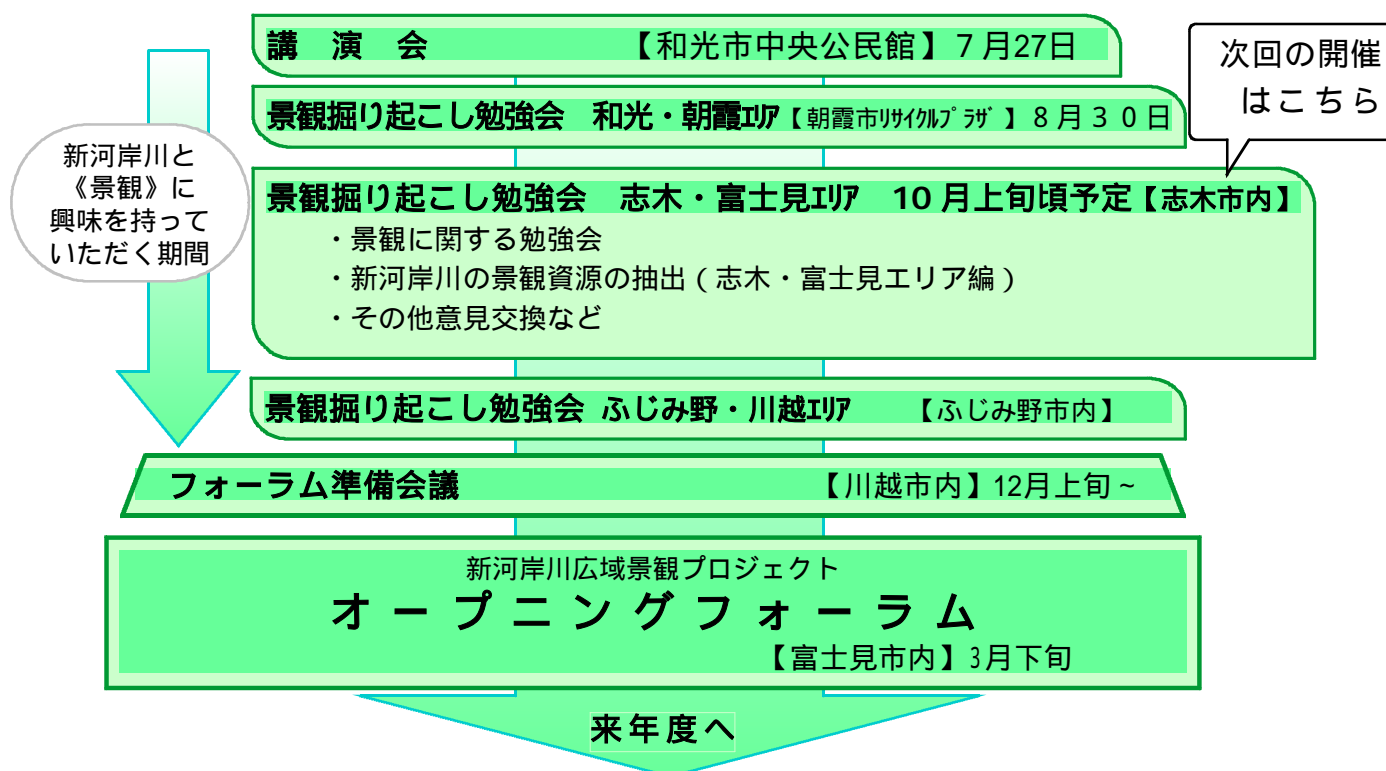
景観掘り起こしMAP作成の後で、意見交換を行いました。
今回の勉強会を通して感じたことなど、たくさんの貴重な意見ができました。



- * 良い地図ができあがったので、是非活用して欲しい。
- * シンボルツリーなどがあると良い。
- * 「魚釣りをする人」のような行動も景観だろう。
- * 県や市の環境関係の担当者などにも参加して欲しい。
- * 河川は繋がっている。支流にもプロジェクトが広がって行くと良い。



平成20年度スケジュール



ご意見
お待ちしております

埼玉県 県土整備部

県土づくり企画室

景観・まちづくり推進担当

電話 048-830-5367（直通）

FAX 048-830-4822

Email a5360-08@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A08/B100/keikanHP/shingashitop.html>

